

夫が長野県でイチゴ苗生産を始めた翌2007年(平成19)には、息子の陽平(現社長)が入社しました。

ホームページ管理はもっぱら息子で、14年のリニューアルの際には、お客さまに育て方を伝えるための「多肉植物図鑑」のサイトを開設。この時点で300品種を超える多肉植物を扱う専門店になっていました。

### 都田わくわくし隊の代表に

一方、翌15年には、都田地区でグリーンツーリズムを推進し

ようと、業種の枠を超えた地元有志で「都田わくわくし隊」が誕生。私が代表を引き受けることになりました。

12年に新東名高速道路が開通し、都田地区にスマートインターチェンジができたのがきっかけです。地元の大手建設会社が、北欧をイメージした洗練されたプレイスロットを開設したのを

## 業種を超えた地域活動に参画

### 父から学んだ「道普請」の心

きっかけに、都市部から来訪者が増え、それに連れてカフェやパン工房などのおしゃれな新しい店が増えていたのです。

それまでの農村地帯の雰囲気が変わり始め、それなら、点を線、線を面に広げて来訪者の回遊性を高められないかとの思いから結成された組織です。

地区の観光スポットや店舗・農園などを掲載した「都田わく



ゆっくり買い物できる直売所

わくマップ」の作成、観光サイトの運営、「わくわくおもてなしマルシェ」の開催など、今もさまざまな活動を続けています。

### 自分たちで良くしていく

近年は、カクト・ロコにいらっしやるお客さまも、上から下まで高級ブランドのトータルフ

アッションで、ご家族でいらっしやる方が増えましたね(笑)。

17年には、お子さん同伴でも安心してゆっくり買い物ができるように、さらに次世代も多肉植物に親しんでくれるようにと、直売所内に、カフェスペースとキッズルームを作りました。農業経営とは直接関係のない地域活動の大切さを教えてくれたのは、幼い頃に見ていた父の姿が原点にあります。

雨の日にカップを来て、道普請に出る父に付いて行き、集落総出で、まだ舗装されていない道に付いた車のわだちに砂利を入れる作業を見ていました。

行政頼みでなく、自分たちで地域を良くしようと思わなければ良くなる。地域が良くなるのが、自分自身の幸せにもつながるのだと学んだ気がします。

次の世代にも、その思いをつなげていけたらいいですね。